

IFACニューヨーク理事会報告

国際会計士連盟（IFAC：International Federation of Accountants）の理事会が2013年6月13日から14日にかけてニューヨークで開催された。理事会には、22名中20名（インド、ブラジルは欠席）のボード・メンバー¹及びテクニカル・アドバイザー等が参加した。なお、日本からは木下俊男前専務理事（テクニカル・アドバイザー）、及び筆者（ボード・メンバー）が出席した。

以下、理事会の概要等を報告する。

1 定款見直し

2012年来、定款見直しが議論され、定款見直しワーキング・グループ（CRWG）が組織されている。2012年6月のIFAC理事会において、準加盟団体である英国のアカウンティング・テクニシャン協会（AAT-UK）からの正式な加盟団体となるための申請について議論され、記帳技術等を専門とするスペシャリストがIFAC加盟団体としてのプロフェッショナル・アカウントに含まれるか否かが問題となった。これに関連して、2012年11月に米国公認会計士協会（AICPA）より会員資格の見

直しに関する提案が、総会に対してなされた。提案の内容は、現在、1つしかない正式な会員資格に分類を設ける検討を行うというものであり、決議が行われ、日本は賛成票を投じたが、反対多数で否決された。

その後も、これに関し検討を続けていたCRWGは、2013年春に加盟団体向けに調査を行い（回答期限は、2013年5月8日）、今回の理事会ではその調査結果を基に議論が行われた。調査項目の中には、正式な加盟団体になるために、最低限の加盟団体が遵守すべき義務に関するステートメント（SMO：Statements of Membership Obligations）を設けるべきか、加盟団体の承認権限を総会から理事会に移すべきか、総会における1団体1票の議決権を、会費の拠出額に応じて複数の議決権を配分すべきか、現在の理事会の構成を、より会費の拠出額に応じた構成に見直すべきか、等の選択肢が含まれていた。

議論においては、最低限のSMOを設けることは好ましいものの、実務的には困難であるとの意見があった。また、総会の権限を一部、理事会に移すことには支持があったが、総会における議決権の見直しや理事

会の構成の大幅な見直しについては、否定的な見方があった。これを受けて、CRWGにおいては、定款見直しに向けた公開草案を作成し、2013年8月を目途に公表する予定となった。

2 年会費の計算方法の見直し

定款見直しと並行して、加盟団体の年会費の計算方法の見直しが検討されており、事務局より素案が提示され議論された。現行の年会費の計算は、各国の国民総所得（GNI）と各加盟団体の正会員数を基礎に一定の公式を用いて決定されている。提案された新しい計算方法は、各加盟団体の総収入の1%を会費とするものである。ただし、加盟団体の事業モデルは多様であり、総収入の多くを会費から得ている加盟団体もあれば、出版・研修等その他の活動から収入の多くを得ている加盟団体もある。これらについて公平性の観点から例外を認めるべきであるという意見がある一方、加盟団体から一律に徴収するという観点からは、例外を認めない、可能な限り簡潔な方法が望ましいとの意見もあった。今回は意見聴取に止まり、これについても

さらに議論を続けることとなった。

3 新ウェブサイト

「IFAC Global Knowledge Gateway」(仮称)と称する新たなウェブサイトを立ち上げ、グローバル・プラットフォームとして、世界中の知識・リソースへのアクセスを提供したい旨の提案が事務局よりなされ、議論された。リソース、コンテンツ、著作権等について質疑応答がなされ、今後さらに検討していくこととなった。

4 IIAとのMoU

内部監査人協会 (IIA) との覚書 (MoU) 締結により、2004年から協力体制を築いてきているが、今回、MoUを一部変更し更新することが提案され、承認された。これに先立

ち、IIAのRichard Chambers会長によるプレゼンテーションが行われ、190か国に18万人の会員を有する等のIIAの概要や、IIAの組織、戦略について説明が行われ、質疑応答があった。

5 IAAのプレゼンテーション

国際アクチュアリー会 (IAA) の Kurt Wolfsdolf会長を招き、プレゼンテーションが行われた。108か国に6万人の会員を有する等のIAAの概要や、IAAの組織、戦略について説明が行われ、質疑応答があった。前述のIIAと同様、国際的な組織からプレゼンターを招いたものであり、国際的な組織としての戦略や課題等、IFACの活動にも参考となるようなプレゼンテーションであった。

6 その他

今回の会議は、2013年9月5日・6日にニューヨークで開催される予定である。

(前常務理事/IFAC理事会
ボード・メンバー 篠原 真)

〈注〉

- 1 日本、米国 (2名)、英国 (2団体から2名)、フランス、スペイン、ノルディック (北欧諸国の代表)、カナダ (2団体から2名)、ジャマイカ、ブラジル、オーストラリア、ニュージーランド、中国、韓国、インド、インドネシア、トルコ、南アフリカ、チュニジア、ウガンダの各団体の代表から構成される。